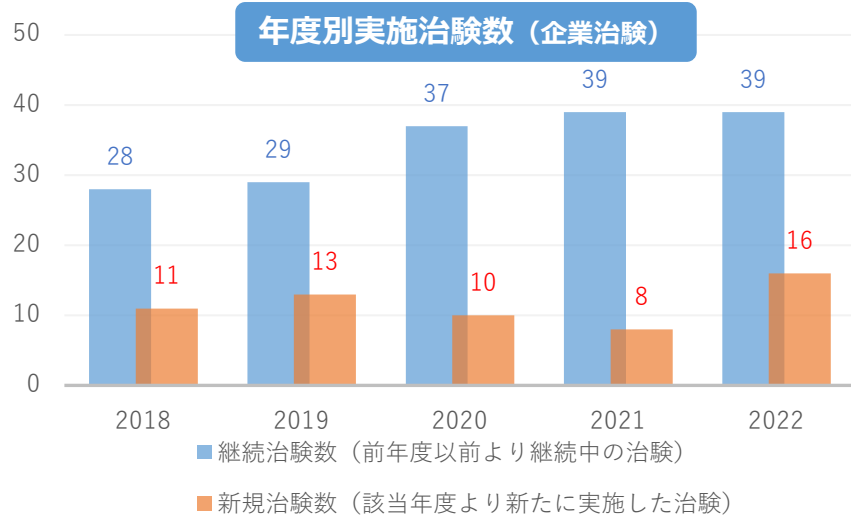


直近5年間（2018年～2022年度）



実施可能性調査件数

	2018	2019	2020	2021	2022
治験の実施可能性調査	13	11	11	7	15
実臨床の患者数調査	3	2	0	2	1
実施中治験の再調査	2	2	1	1	0
患者紹介に関する調査	0	1	0	1	1
合計	18	16	12	11	17

調査回答数

	2018	2019	2020	2021	2022
調査対象施設数	487	503	368	476	713
回答施設数	436	462	346	454	691
回答率	89.9%	91.8%	94.0%	95.4%	96.9%

実施治験数

累計**103件**

実施中治験 : 46件
 終了治験 : 53件
 開発中止治験 : 4件

主な対象疾患

- 肺動脈性肺高血圧症
- 小児神経因性排尿筋過活動
- 血友病
- 未熟児網膜症
- 成長ホルモン分泌不全等による低身長
- 心不全
- てんかん
- 脊髄性筋萎縮症
- 潰瘍性大腸炎
- 悪性神経膠腫
- Fontan手術施行後の血栓予防
- 逆流性食道やNSAIDsに対する潰瘍予防
- ムコ多糖症II型
- 超新生児の慢性肺疾患の発現抑制
- 若年性特発性関節炎
- 高尿酸血症
- 糖尿病
- 便秘症
- 肝性脳症
- 重症喘息
- アトピー性皮膚炎
- 高コレステロール血症
- 高血圧症
- etc...

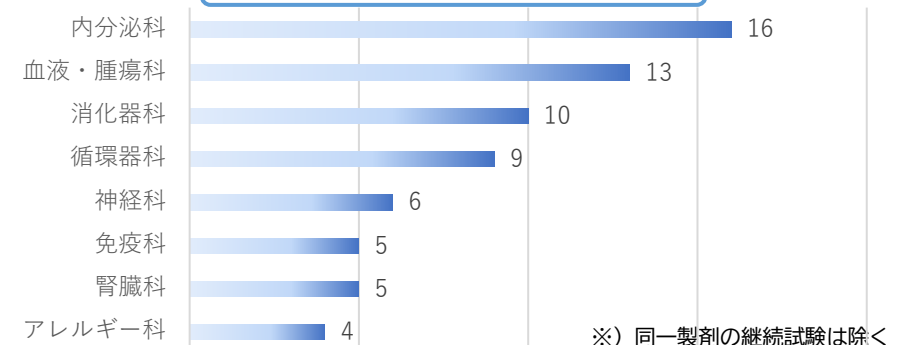
累積（2012年度～）

製造販売承認取得件数

累計**27品目**

承認年度	商品名（適応症）
2016年	ヘマンジオル（乳児血管腫）、自家培養表皮ジェイス（先天性巨大色素性母斑/医師主導）
2017年	インチュブ（ADHD）、レバチオ（肺動脈性肺高血圧症）、ノルデイトロピン（ヌーナン症候群による低身長）
2018年	ネキシウム（胃酸関連疾患）、イブリーフ（未熟児動脈管開存症）、オレンシア（若年性特発性関節炎）、イラリス（全身性若年性特発性関節炎）、レフィキシア（血友病B）、ロラピタ（てんかん重積）、ヘムライブラ（血友病A）プレセデックス（集中治療下での鎮静を必要とする小児患者）
2019年	フィアスプ（1型糖尿病）、イスパロクト（血友病A）、ルセンチス（未熟児網膜症）
2020年	ブコラム（てんかん）、イグザレルト（静脈血栓塞栓症）、イズカーゴ（ムコ多糖症II型）
2021年	エプリステイ（脊髄性筋萎縮症）、アジルバ（高血圧）、フェントステーブ（がん疼痛）、エヌジェンラ（GH分泌不全低身長）
2022年	キュビシン（MRSA感染症）、アイリーア（未熟児網膜症）、トビエース（神経因性排尿筋過活動）、プレセデックス（MRI検査時の鎮静）

診療科別治験数



<その他>

感染症科 / 精神科 / 集中治療科 / 新生児科
 形成外科 / 遺伝科 / 脳神経腫瘍科 / 麻酔科 etc...